



さんりんしゃ 三輪車



ニッキー

八千代市立新木戸小学校
《校長室だより》
発行：校長 寺田 好江
令和2年度 第25号
令和3年 2月17日

【学校教育目標】 自らの可能性を拓く子供の育成

おへそのひみつ！ 2年生 生活科「じぶん はっけん！」

2月15日（月）に2年生で「おへそのひみつ」の授業を行いました。2年生は生活科「じぶん はっけん！」で誕生から今までの成長についてまとめます。そこで、おへその役割についても学ぶ授業を取り入れています。

命の始まりの小ささに驚き、お母さんのおなかの中の様子の絵を使って、お母さんと「へその緒」でつながっていたことを知りました。特に280日近く「羊水」という水の中で赤ちゃんが大きく成長していくことを知らせると、「えー、水の中？」「息ができないよ！」と口々に話していました。そこで、「へその緒」がお母さんから栄養と酸素を運んでいることを教えると、「へその緒」は赤ちゃんの「いのちづな」というステキな名前がつけました。「羊水」で赤ちゃんが守られていることについては、容器いっぱいの中に入れて豆腐で実験しました。空気が入っている容器の中の豆腐の崩れ具合から、「羊水」が赤ちゃんを守ってくれていることも実感できました。

今は、あまり働いていないような「おへそ」ですが、おなかの中で成長するために必要なものだったと理解してくれたようです。



【2年生の感想から】

- *おへその役目がこんなにあったなんてとてもビックリしました。
- *自分の最初は1mmもなかったことを知って「すごいなあ」と思ったし、人間は進化してすごいと思いました。
- *頑張ってお母さんは産んでくれるし、自分も頑張ってお母さんから生まれてくるのがわかりました。お母さんはすごいなあ。
- *今はいらぬへその緒が、赤ちゃんの頃には命をつないでいる大事なものだと思いました。
- *赤ちゃんが生まれると、へその緒を切っても痛くないことに驚きました。
- *おへそは、ただついているだけだと思っていたけれど、命にかかわることをしていたんだと初めて知りました。
- *私は、280日も羊水の中で栄養や空気をもらいながら大きくなっていったことがわかりました。
- *最初は1mmもない大きさだったけど、280日で50cmになるなんてすごいと思いました。へその緒は命綱ということもわかりました。生まれてくるのが、赤ちゃんにとってもお母さんにとってもキセキだと思いました。
- *私たちの命を守るためにお母さんもお医者さんもお懸命働いてくれたんだと思いました。これからはずっと命を大事にしたいです。